立憲民主党

本庄 さとし

ほんじょう

即戦力。

衆議院議員候補

- 岡田克也議員秘書を19年
- 政権で副総理、外務大臣の秘書官
- 1974年生まれ
- 東大法学部卒

2児の父

本庄さとし選挙事務所

〒277-0841 柏市あけぼの3-3-9
04-7186-7177 04-7186-6684
info@honjosatoshi.jp
https://www.honjosatoshi.jp

頒布責任者／芳野泰崇 柏市豊四季949-9-101
印刷者／株式会社弘報社 千葉市緑区古市場町474-268

国民に、課題に「向き合う政治」へ

一強政治を変える。「表紙」ではなく「中身」を。

熊谷知事誕生へ全力で応援

岡田克也議員と「政策フォーラム」

毎朝の駅頭（2年で400回）

柏市長と意見交換

県議団とのコロナ勉強会を開催

コロナ支援策を紹介して歩く

グラウンド・ゴルフ大会に足を運ぶ

あおぞらトーク（2ヵ月で40公園）

ポスターを1枚でも多く（2年で1000枚）

本庄さとしプロフィール

- 1974（昭和49）年10月22日生まれ
- 東京大学法学部卒業（体育会テニス部・北岡伸一ゼミOB）
- 衆議院議員岡田克也事務所（19年間勤務）
  政策担当秘書、外務大臣秘書官、副総理秘書官を務める
  立憲民主党の公募を経て、千葉８区総支部長に選任
- 家族／妻、息子（小６）、娘（小４）
- 好きな食べ物／冷奴、そば、昆布締め、漬物、コーヒー
- 息抜き／テニス、子どもたちと過ごす時間、妻との晩酌
- 好きな言葉／意志あるところに道は開ける
- 政治家を志したきっかけ／10代で目の当たりにした消費税導入と湾岸戦争

LINE 公式アカウント

友だち追加

本庄さとし政策ビジョン2030（抜粋）

キーワードは「多様性」「透明性」「持続可能性」

2050年の日本を見すえた今後10年の重点政策

1 コロナ禍を乗り越え、次の時代に臨む

- 安倍・菅政権のコロナ対策の検証、強力な「司令塔」の設置
- 第6波に備えた総合対策（ワクチン3回目、検査拡充、水際対策、人流抑制、病床確保など）
- 事業者支援、生活支援は十分なボリュームとスピードで
- 感染症に強い医療体制の整備（ワクチン開発支援、感染症病床の拡充など）

2 くらしを豊かにする経済政策 ～分配なくして成長なし～

- アベノミクスの転換、格差の是正（金融所得課税、所得税最高税率、法人税の見直しなど）
- 人への投資（正規雇用への転換後押し、最低賃金の段階的引き上げ、職業訓練、学び直し支援など）
- グリーン・ニューディール（脱炭素社会に向けた大胆な投資）
- 将来不安の解消（医療・介護の充実、年金制度の安定、持続可能な財政）
- 防災・減災に重点を置いた公共投資、教育費と住居費の負担軽減
- 地方を元気に（地産地消型自然エネルギー、自治体の裁量で使える一括交付金、農業者戸別所得補償など）

3 こどもファースト、若者応援社会

- 他の先進国並みの家族関係支出（児童手当など）と教育支出
- 子どもの貧困対策（ひとり親支援、養育費問題など）、「子ども省」設置
- 学生支援（国公立大の授業料引き下げ、私大生の給付型奨学金拡充など）
- ヤングケアラー（家族を介護する子ども）の早期発見、支援体制の強化

4 一人ひとりの価値観、生き方を大切にする社会

- 選択的夫婦別姓制度の早期実現
- LGBT平等法の制定
- 不妊治療への保険適用推進

5 3つの危機を克服し、次の世世代に責任を果たす

- 人口減少・少子高齢化に歯止めをかける（仕事と子育ての両立支援、非婚・未婚対策など）
- 気候変動・地球温暖化を乗り越える（原発のない脱炭素社会の追求、カーボンプライシング）
- 持続可能な社会保障と財政の立て直し

6 米中二強時代を生き抜く日本外交

- 「開かれた国益」と「基本的価値」（自由、民主主義、人権など）の追求
- 「地球規模課題」（気候変動、貧困、感染症、災害、テロ対策など）、人道・復興支援への貢献
- 近隣外交を立て直し、「アジアの中の日本」を最大限に活かす
- 尖閣諸島など領土・領海・領空を守り抜くための体制整備（領域警備法の制定など）

7 憲法の平和主義を守り抜く

- 「核なき世界」に向けたリーダーシップ（核兵器禁止条約へのオブザーバー参加）

8 希望と活力あふれる柏・我孫子を

- 子育て・教育、医療・介護など子どもとお年寄りに優しい街
- 人口減少・少子高齢化に対応した街づくりとインフラ整備
- 都市の活力と豊かな自然環境を併せ持つ柏・我孫子ブランドを戦略的に推進
- 将来の政令市も視野に入れた広域行政・経済圏の確立
- 熊谷知事、永田町、霞が関とのパイプを活かした国政・県政・市政の連携

詳細はWEBサイトをご覧ください
https://www.honjosatoshi.jp/#policy

新しい時代の 新しい政治を 新しい力で

新型コロナ、格差拡大、人口減少、気候変動――。日本は大きな危機に直面しています。しかし、国民の命と暮らしを守るべき政治は、その役割を十分に果たせていません。

今こそ、一強政治を転換し、新しい時代にふさわしい新しい政治を実現しなければなりません。そして、そのためには、しがらみのない新しい力が必要なのです。

今だけではなく、次の世代に責任を果たす政治。都合の良いPRではなく、きちんと国民と向き合う政治。切り捨てるのではなく、手を差し伸べる政治。そして、特定の誰かのための政治ではなく、国民一人ひとりのための政治。そんな新しい政治を皆さんと一緒に始めたい。ぜひ私に、お力をお貸しください。

本庄さとし

政権交代可能な政治を目指して ～岡田克也議員とともに歩んだ19年～

■2000年、岡田克也衆議院議員の秘書に。その後19年に渡り、国会、党務、選挙など幅広く岡田議員を支える。

■2009年からの民主党政権では、岡田議員とともに政権入りし、外務大臣秘書官、与党幹事長政策秘書、副総理秘書官を務める。
日米外交密約の調査・解明、記者会見のオープン化、衆参ねじれ国会への対応、東日本大震災からの復旧・復興、社会保障と税の一体改革など、政権の重要課題に深く関わる。

■2015年、岡田議員が党代表に復帰すると、政策秘書として代表を支え、安保法制国会、2016年参院選など、最前線で安倍政権と対峙する。

■2019年、立憲民主党の公募を経て、千葉8区（柏市・我孫子市）で政治活動をスタート。

私の政治活動の相棒、「即戦力」間違いなし!!

本庄さんは大学卒業後、19年間、秘書として私の政治活動を支え、ともに歩んできました。

私が外務大臣を務めたときには、本庄さんは秘書官として、世界中を一緒に飛び回りました。また、省内の細かいことが分からないなかで、しっかりと情報を集め、調整をしてくれたのが本庄さんです。

もちろん、野党の代表や幹事長のときにも、国会や選挙の最前線で実質的な補佐をしてもらうなど、まさに私の政治活動における相棒のような存在でした。

数々の修羅場を経験しており、国会に送り出してもらえれば、「即戦力」となることは間違いありません。

地元のために働くことは大前提ですが、同時に、国民目線で日本の将来のために、国の仕組みや制度を変えていくという見識と政策を持っている人が増えていかないと、日本の政治は良くなりません。

本庄さんは、そうしたことができる人です。皆さん、よろしくお願いします。

元副総理・外務大臣
衆議院議員
岡田 克也

大臣秘書官として岡田外交を補佐

国会質問は対総理大臣だけでも約100回

国会の合間を縫って岡田議員も駅立ちに